新文芸坐シネマテーク vol.59

Claude Chabrol, rétrospective
Part 8 : Sérénité et tromperie

若鶏のヴィネガー煮込み Poulet au vinaigre (85)
刑事ラヴァルダン Inspecteur Lavardin (86)
嘘の心 Au cœur du mensonge (99)



クロード・シャブロル特集 Part 8：平穏と欺瞞

新文芸坐



クロード・シャブロル
Claude Chabrol

1930年6月24日、パリ生まれ。父親は薬剤師で、彼も薬学を専攻した。ゴダールやトリュフォーらと出会い、アンドレ・バザン時代の「カイエ・デュ・シネマ」で映画批評を書き始めた。1956年、妻の祖母の遺産を元手にジャック・リヴェットの短編『王手飛車取り』を製作。さらに自らの監督デビュー作『美しきセルジュ』を発表した。続く第2作『いとこ同士』と共に、批評的・興行的に大成功を収めた。その後も数多くの作品を発表したが、敬愛するサスペンスの巨匠ヒッチコックにならい、その殆どがサスペンスやミステリ映画であった。代表作は『不貞の女』『野獣死すべし』『肉屋』『血の婚礼』『ヴィオレット・ノジエール』『主婦マリーがしたこと』『沈黙の女』『石の微笑』『刑事ベラミー』など多数。2010年9月12日にパリにて死去。

新文芸坐シネマテーク vol.59 ／クロード・シャブロル特集 Part8：平穏と欺瞞

『若鶏のヴィネガー煮込み』
Poulet au vinaigre

1985／仏／110分／HDデジタル



監督・脚本：クロード・シャブロル
原作：ドミニク・ルーレ
撮影：ジャン・ラビエ
音楽：マチュー・シャブロル
出演：ジャン・ポワレ／ステファーヌ・オードラン／ミシェル・ブーケ／リュカ・ベルヴォー／ポーリーヌ・ラフォン

小さな田舎町。車椅子の母（ステファーヌ・オードラン）と暮らす郵便配達員の青年（リュカ・ベルヴォー）は、自宅の不動産を狙う地元の有力者たちから執拗な嫌がらせを受けていた。やがて青年が仕返しを企てたことで、殺人事件が発生。風変わりで強引な手法を駆使するラヴァルダン刑事（ジャン・ポワレ）が捜査に乗り出す。

『刑事ラヴァルダン』
Inspecteur Lavardin

1986／仏＝スイス／100分／HDデジタル



監督：クロード・シャブロル
脚本：クロード・シャブロル／ドミニク・ルーレ
撮影：ジャン・ラビエ
音楽：マチュー・シャブロル
出演：ジャン・ポワレ／ジャン＝クロード・ブリアリ／ベルナデット・ラフォン／ジャン＝リュック・ビドー

海辺の町。厳格で横暴なカトリックの作家が、海岸で全裸の死体となって発見された。背中には「豚」という血文字が書かれていた。事件の捜査にあたるラヴァルダン刑事（ジャン・ポワレ）は、被害者の未亡人（ベルナデット・ラフォン）がかつての恋人であることに気づく。風変わりな刑事が、因習深い町の歪んだ秘密を暴いていく。

『嘘の心』
Au cœur du mensonge

1999／仏／113分／HDデジタル



監督：クロード・シャブロル
脚本：クロード・シャブロル／オディール・バルスキ
撮影：エドゥアルド・セラ
音楽：マチュー・シャブロル
出演：サンドリーヌ・ボネール／ジャック・ガンブラン／ヴァレリア・ブルーニ・テデスキ／ビュル・オジエ

ブルターニュの小さな漁村で10歳の少女の死体が発見された。少女が最後に訪れた相手である、スランプに陥った画家のルネ（ジャック・ガンブラン）が第一容疑者となる。妻のヴィヴィアンヌ（サンドリーヌ・ボネール）は夫を支えようとするが、新たな女性警部が着任したことで、平穏な町に潜む嘘や偽善が次第に剥がれ落ちていく。

	開映	終映	
12.11［金］	19:30	21:20	若鶏のヴィネガー煮込み
12.18［金］	19:30	21:10	刑事ラヴァルダン
12.25［金］	19:30	21:23	嘘の心

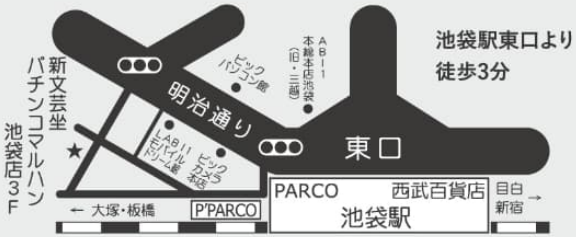
各日、上映後に映画批評家・大寺眞輔さんの講義が60分程度ございます。

料金：2200円均一

チケット：上映1週間前の0:00よりオンラインにて販売
（劇場窓口は9:00より販売）

※オンライン購入は新文芸坐公式HPよりご利用ください
※上映素材の状態によっては、映像にお見苦しい点がございます

感動はスクリーンから
新文芸坐
03-3971-9422
www.shin-bungeiza.com
twitter：shin_bungeiza
東京都豊島区東池袋1-43-5
マルハン池袋ビル3F



共催：新文芸坐シネマテーク実行委員会

大寺眞輔



映画批評家、早稲田大学・日大芸術学部講師。「キネマ旬報」「文學界」「カイエ・デュ・シネマ・ジャポン」などで映画批評を執筆。著書に「現代映画講義」など。
IndieTokyo主宰。